担当者スポット

日廃振センター業務から感じたことを綴る
「担当者のコラム」



変わる勇気

総務部　山田史織
yamada shiori

今年の夏に、ロンドンオリンピックが開催されました。

そのロンドンオリンピックでは、日本は過去最多のメダルを獲得しました。

今回、獲得したメダルの中で印象に残ったのは、“初めて”や“何十年ぶり”といったメダルが多かったということです。

その“初めて”や“何十年ぶり”のメダル獲得の力となった一つとして、新たな取組みがありました。例えば28年ぶりに銅メダルを獲得したバレーボールでは、選手のデータを収集し、収集したデータをリアルタイムに活用する方式を取り入れて適切な対応ができるように努め、また44年ぶりに金・銅メダルを獲得したボクシングでは、今まで禁断とされていたプロとアマチュアの交流を行うことにより選手の技術向上につなげるなど、今までにない戦略があったそうです。

新しいものを取り入れるということは、大きな決断と不安が伴い、周囲の反発などもあると思います。しかし、今回のオリンピックではチームワークと選手自身の努力が、そういった困難を乗り越えさせ、過去最多数のメダル獲得という快挙達成に結びついたのではないでしょうか。

私は、今回のロンドンオリンピックを通し、新しいことにチャレンジすることの必要性、そして何より、新しいことにチャレンジするためには、「勇気」が大切であると感じました。

変わらないことの素晴らしさもありますが、目標を達成するためには変わる勇気も必要だと思います。

編集後記

センターでは設立以来、排出事業者、処理業者を対象として、産業廃棄物の適正処理に関する各種講習会・研修会を行っています。

本号では、「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」、「放射性物質汚染廃棄物の処理に関する講習会」、「排出事業者を対象にした産業廃棄物マネジメント研修会」の開催案内を掲載いたしました。各種講習会・研修会を受講し専門的な知識を習得いただければ幸いです。

また、10月26日（金）には（公社）全国産業廃棄物連合会、（公財）産業廃棄物処理事業振興財団、当センターが共同で主催する「第11回産業廃棄物と環境を考える全国大会」が東京都で開催され、災害廃棄物の迅速かつ適正な処理について考えます。

これからも災害廃棄物対策支援や循環型社会の形成に関わる業務に努めていきます。

（新　井）

本誌に関する連絡先：総務部広報室　e-mail:jigyo@jwnet.or.jp

【アンケートへのご協力のお願い】
日廃振センターのホームページでは、本誌のPDFファイルを掲載しています。ウェブアンケートで皆さまからのご意見等をお聞かせください。
URL　http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi_desc12_3.shtml

日廃振センター情報（季刊）VOL.12 NO.3　発行日：平成24年10月15日　発行人：岡澤和好
発行所：公益財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター
〒102-0084　東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111　FAX：03-5275-7112　http://www.jwnet.or.jp/
デザイン・印刷　株式会社ぎょうせい